

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 7 月 24 日(2024.7.24)

【公開番号】特開 2024-48758(P2024-48758A)
【公開日】令和 6 年 4 月 9 日(2024.4.9)
【年通号数】公開公報(特許)2024-065
【出願番号】特願 2022-154838(P2022-154838)
【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 334

A 63 F 7/02 326 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 7 月 16 日(2024.7.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

開口部を有する箱状に形成された本体部材と、
ヒンジ機構を用いて前記本体部材に対して開閉可能に取り付けられた扉部材と、
複数種類の部品が配置される第 1 面部と前記複数種類の部品のリード線が半田付けされる
第 2 面部とを有する基板と、を備え、
前記基板の第 1 面部には、第 1 部品と、前記第 1 部品と同じ性能を有する第 2 部品と、前
記第 1 部品とは異なる性能を有する第 3 部品と、前記第 1 部品、前記第 2 部品および前記
第 3 部品とは異なる性能を有する第 4 部品とを含む複数種類の部品が実装され、
前記第 1 面部には、前記複数種類の部品を識別可能とするための識別情報が印刷されてお
り、
前記本体部材の内面部または、前記扉部材の裏面部に前記基板が設けられた状態において
、前記識別情報は、左から右への向きに文字が並ぶ横書きの態様で印刷されているか、ま
たは下から上への向きに文字が並ぶ横書きの態様で前記第 1 面部に印刷されており、
前記第 1 部品はリード線 1 a とリード線 1 b を有し、
前記第 2 部品はリード線 2 a とリード線 2 b を有し、
前記第 3 部品はリード線 3 a とリード線 3 b を有し、
前記第 4 部品は複数のリード線 4 を有し、
前記第 1 部品のリード線 1 a は前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入され、
前記第 2 面部から突出した前記リード線 1 a は、前記基板を所定の向きにした状態で前記
第 2 面部を平面視したときに、前記リード線 1 a が前記第 2 面部から突出した位置と前記
リード線 1 b が前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入されて前記第 2 面部か
ら突出した位置とを結んでなる所定の仮想線分 1 に対する角度が n_1 度であり、
前記第 1 部品のリード線 1 b は前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入され、
前記第 2 面部から突出した前記リード線 1 b は、前記所定の仮想線分 1 に対する角度が n_2
度であり、
前記第 2 部品のリード線 2 a は前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入され、
前記第 2 面部から突出した前記リード線 2 a は、前記基板を前記所定の向きにした状態で
前記第 2 面部を平面視したときに、前記リード線 2 a が前記第 2 面部から突出した位置と

30

40

50

前記リード線 2 b が前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入されて前記第 2 面部から突出した位置とを結んでなる所定の仮想線分 2 に対する角度が n 3 度であり、
前記第 2 部品のリード線 2 b は前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入され、
前記第 2 面部から突出した前記リード線 2 b は、前記所定の仮想線分 2 に対する角度が n 4 度であり、
前記第 3 部品のリード線 3 a は前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入され、
前記第 2 面部から突出した前記リード線 3 a は、前記基板を前記所定の向きにした状態で
前記第 2 面部を平面視したときに、前記リード線 3 a が前記第 2 面部から突出した位置と
前記リード線 3 b が前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入されて前記第 2 面
部から突出した位置とを結んでなる所定の仮想線分 3 に対する角度が n 5 度であり、
前記第 3 部品のリード線 3 b は前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入され、
前記第 2 面部から突出した前記リード線 3 b は、前記所定の仮想線分 3 に対する角度が n 6 度であり、
前記 n 1 度と前記 n 3 度は略同一の角度であり、
前記 n 2 度と前記 n 4 度は略同一の角度であり、
前記 n 1 度と前記 n 5 度は異なった角度であり、
前記第 4 部品の前記複数のリード線 4 は前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿
入され、前記第 2 面部から突出した前記複数のリード線 4 の高さは、前記第 2 面部から突
出した前記リード線 3 a および前記リード線 3 b の高さよりも高く、
前記第 4 部品の前記複数のリード線 4 は前記リード線 3 a および前記リード線 3 b よりも
強度が高く曲がりにくくなっていることを特徴とする遊技機。

10

20

【請求項 2】

開口部を有する箱状に形成された本体部材と、
ヒンジ機構を用いて前記本体部材に対して開閉可能に取り付けられた扉部材と、
複数種類の部品が配置される第 1 面部と前記複数種類の部品のリード線が半田付けされる
第 2 面部とを有する基板と、を備え、
前記基板の第 1 面部には、第 1 抵抗部品と、前記第 1 抵抗部品と同じ性能を有する第 2 抵
抗部品と、前記第 1 抵抗部品とは異なる性能を有するコンデンサ部品と、前記第 1 抵抗部
品、前記第 2 抵抗部品および前記コンデンサ部品とは異なる性能を有する IC ドライバと
を含む複数種類の部品が実装され、
前記第 1 面部には、前記複数種類の部品を識別可能とするための識別情報が印刷されてお
り、
前記本体部材の内面部または、前記扉部材の裏面部に前記基板が設けられた状態において
、前記識別情報は、左から右への向きに文字が並ぶ横書きの態様で印刷されているか、ま
たは下から上への向きに文字が並ぶ横書きの態様で前記第 1 面部に印刷されており、
前記第 1 抵抗部品はリード線 1 a とリード線 1 b を有し、
前記第 2 抵抗部品はリード線 2 a とリード線 2 b を有し、
前記コンデンサ部品はリード線 3 a とリード線 3 b を有し、
前記 IC ドライバは複数のリード線 4 を有し、
前記第 1 抵抗部品のリード線 1 a は前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入さ
れ、前記第 2 面部から突出した前記リード線 1 a は、前記基板を所定の向きにした状態で
前記第 2 面部を平面視したときに、前記リード線 1 a が前記第 2 面部から突出した位置と
前記リード線 1 b が前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入されて前記第 2 面
部から突出した位置とを結んでなる所定の仮想線分 1 に対する角度が n 1 度であり、
前記第 1 抵抗部品のリード線 1 b は前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入さ
れ、前記第 2 面部から突出した前記リード線 1 b は、前記所定の仮想線分 1 に対する角度
が n 2 度であり、
前記第 2 抵抗部品のリード線 2 a は前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入さ
れ、前記第 2 面部から突出した前記リード線 2 a は、前記基板を前記所定の向きにした状
態で前記第 2 面部を平面視したときに、前記リード線 2 a が前記第 2 面部から突出した位

30

40

50

置と前記リード線 2 b が前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入されて前記第 2 面部から突出した位置とを結んでなる所定の仮想線分 2 に対する角度が n 3 度であり、前記第 2 抵抗部品のリード線 2 b は前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入され、前記第 2 面部から突出した前記リード線 2 b は、前記所定の仮想線分 2 に対する角度が n 4 度であり、

前記コンデンサ部品のリード線 3 a は、前記基板を前記所定の向きにした状態で前記第 2 面部を平面視したときに、前記リード線 3 a が前記第 2 面部から突出した位置と前記リード線 3 b が前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入されて前記第 2 面部から突出した位置とを結んでなる所定の仮想線分 3 に対する角度が n 5 度であり、

前記コンデンサ部品のリード線 3 b は前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入され、前記第 2 面部から突出した前記リード線 3 b は、前記所定の仮想線分 3 に対する角度が n 6 度であり、

前記 n 1 度と前記 n 3 度は略同一の角度であり、

前記 n 2 度と前記 n 4 度は略同一の角度であり、

前記 n 1 度と前記 n 5 度は異なった角度であり、

前記 IC ドライバの前記複数のリード線 4 は前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入され、前記第 2 面部から突出した前記複数のリード線 4 の高さは、前記第 2 面部から突出した前記リード線 3 a および前記リード線 3 b の高さよりも高く、

前記 IC ドライバの前記複数のリード線 4 は前記リード線 3 a および前記リード線 3 b よりも強度が高く曲がりにくくなっていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

このような目的達成のために、本発明に係る第 1 態様の遊技機は、開口部を有する箱状に形成された本体部材と、ヒンジ機構を用いて前記本体部材に対して開閉可能に取り付けられた扉部材と、複数種類の部品が配置される第 1 面部と前記複数種類の部品のリード線が半田付けされる第 2 面部とを有する基板と、を備え、前記基板の第 1 面部には、第 1 部品と、前記第 1 部品と同じ性能を有する第 2 部品と、前記第 1 部品とは異なる性能を有する第 3 部品と、前記第 1 部品、前記第 2 部品および前記第 3 部品とは異なる性能を有する第 4 部品を含む複数種類の部品が実装され、前記第 1 面部には、前記複数種類の部品を識別可能とするための識別情報が印刷されており、前記本体部材の内面部または、前記扉部材の裏面部に前記基板が設けられた状態において、前記識別情報は、左から右への向きに文字が並ぶ横書きの態様で印刷されているか、または下から上への向きに文字が並ぶ横書きの態様で前記第 1 面部に印刷されており、前記第 1 部品はリード線 1 a とリード線 1 b を有し、前記第 2 部品はリード線 2 a とリード線 2 b を有し、前記第 3 部品はリード線 3 a とリード線 3 b を有し、前記第 4 部品は複数のリード線 4 を有し、前記第 1 部品のリード線 1 a は前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入され、前記第 2 面部から突出した前記リード線 1 a は、前記基板を所定の向きにした状態で前記第 2 面部を平面視したときに、前記リード線 1 a が前記第 2 面部から突出した位置と前記リード線 1 b が前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入されて前記第 2 面部から突出した位置とを結んでなる所定の仮想線分 1 に対する角度が n 1 度であり、前記第 1 部品のリード線 1 b は前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入され、前記第 2 面部から突出した前記リード線 1 b は、前記所定の仮想線分 1 に対する角度が n 2 度であり、前記第 2 部品のリード線 2 a は前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入され、前記第 2 面部から突出した前記リード線 2 a は、前記基板を前記所定の向きにした状態で前記第 2 面部を平面視したときに、前記リード線 2 a が前記第 2 面部から突出した位置と前記リード線 2 b が前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入されて前記第 2 面部から突出し

た位置とを結んでなる所定の仮想線分2に対する角度が $n3$ 度であり、前記第2部品のリード線2bは前記基板のスルーホールに前記第1面部側から挿入され、前記第2面部から突出した前記リード線2bは、前記所定の仮想線分2に対する角度が $n4$ 度であり、前記第3部品のリード線3aは前記基板のスルーホールに前記第1面部側から挿入され、前記第2面部から突出した前記リード線3aは、前記基板を前記所定の向きにした状態で前記第2面部を平面視したときに、前記リード線3aが前記第2面部から突出した位置と前記リード線3bが前記基板のスルーホールに前記第1面部側から挿入されて前記第2面部から突出した位置とを結んでなる所定の仮想線分3に対する角度が $n5$ 度であり、前記第3部品のリード線3bは前記基板のスルーホールに前記第1面部側から挿入され、前記第2面部から突出した前記リード線3bは、前記所定の仮想線分3に対する角度が $n6$ 度であり、前記 $n1$ 度と前記 $n3$ 度は略同一の角度であり、前記 $n2$ 度と前記 $n4$ 度は略同一の角度であり、前記 $n1$ 度と前記 $n5$ 度は異なった角度であり、前記第4部品の前記複数のリード線4は前記基板のスルーホールに前記第1面部側から挿入され、前記第2面部から突出した前記複数のリード線4の高さは、前記第2面部から突出した前記リード線3aおよび前記リード線3bの高さよりも高く、前記第4部品の前記複数のリード線4は前記リード線3aおよび前記リード線3bよりも強度が高く曲がりにくくなっていることを特徴とする。

10

本発明に係る第2態様の遊技機は、開口部を有する箱状に形成された本体部材と、ヒンジ機構を用いて前記本体部材に対して開閉可能に取り付けられた扉部材と、複数種類の部品が配置される第1面部と前記複数種類の部品のリード線が半田付けされる第2面部とを有する基板と、を備え、前記基板の第1面部には、第1抵抗部品と、前記第1抵抗部品と同じ性能を有する第2抵抗部品と、前記第1抵抗部品とは異なる性能を有するコンデンサ部品と、前記第1抵抗部品、前記第2抵抗部品および前記コンデンサ部品とは異なる性能を有するICドライバを含む複数種類の部品が実装され、前記第1面部には、前記複数種類の部品を識別可能とするための識別情報が印刷されており、前記本体部材の内面部または、前記扉部材の裏面部に前記基板が設けられた状態において、前記識別情報は、左から右への向きに文字が並ぶ横書きの態様で印刷されているか、または下から上への向きに文字が並ぶ横書きの態様で前記第1面部に印刷されており、前記第1抵抗部品はリード線1aとリード線1bを有し、前記第2抵抗部品はリード線2aとリード線2bを有し、前記コンデンサ部品はリード線3aとリード線3bを有し、前記ICドライバは複数のリード線4を有し、前記第1抵抗部品のリード線1aは前記基板のスルーホールに前記第1面部側から挿入され、前記第2面部から突出した前記リード線1aは、前記基板を所定の向きにした状態で前記第2面部を平面視したときに、前記リード線1aが前記第2面部から突出した位置と前記リード線1bが前記基板のスルーホールに前記第1面部側から挿入されて前記第2面部から突出した位置とを結んでなる所定の仮想線分1に対する角度が $n1$ 度であり、前記第1抵抗部品のリード線1bは前記基板のスルーホールに前記第1面部側から挿入され、前記第2面部から突出した前記リード線1bは、前記所定の仮想線分1に対する角度が $n2$ 度であり、前記第2抵抗部品のリード線2aは前記基板のスルーホールに前記第1面部側から挿入され、前記第2面部から突出した前記リード線2aは、前記基板を前記所定の向きにした状態で前記第2面部を平面視したときに、前記リード線2aが前記第2面部から突出した位置と前記リード線2bが前記基板のスルーホールに前記第1面部側から挿入されて前記第2面部から突出した位置とを結んでなる所定の仮想線分2に対する角度が $n3$ 度であり、前記第2抵抗部品のリード線2bは前記基板のスルーホールに前記第1面部側から挿入され、前記第2面部から突出した前記リード線2bは、前記所定の仮想線分2に対する角度が $n4$ 度であり、前記コンデンサ部品のリード線3aは前記基板のスルーホールに前記第1面部側から挿入され、前記第2面部から突出した前記リード線3aは、前記基板を前記所定の向きにした状態で前記第2面部を平面視したときに、前記リード線3aが前記第2面部から突出した位置と前記リード線3bが前記基板のスルーホールに前記第1面部側から挿入されて前記第2面部から突出した位置とを結んでなる所定の仮想線分3に対する角度が $n5$ 度であり、前記コンデンサ部品のリード線3bは前記

20

30

40

50

基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入され、前記第 2 面部から突出した前記リード線 3 b は、前記所定の仮想線分 3 に対する角度が $n 6$ 度であり、前記 $n 1$ 度と前記 $n 3$ 度は略同一の角度であり、前記 $n 2$ 度と前記 $n 4$ 度は略同一の角度であり、前記 $n 1$ 度と前記 $n 5$ 度は異なった角度であり、前記 IC ドライバの前記複数のリード線 4 は前記基板のスルーホールに前記第 1 面部側から挿入され、前記第 2 面部から突出した前記複数のリード線 4 の高さは、前記第 2 面部から突出した前記リード線 3 a および前記リード線 3 b の高さよりも高く、前記 IC ドライバの前記複数のリード線 4 は前記リード線 3 a および前記リード線 3 b よりも強度が高く曲がりにくくなっていることを特徴とする。

10

20

30

40

50